



普及センター もりおか



インターネットでオールカラーの記事が読めるよ！

いわてアグリベンチャーネット 普及センターもりおか

検索

第134号平成25年7月25日発行
盛岡農業改良普及センター
盛岡市内丸11-1 盛岡地区合同庁舎
TEL 019-629-6730 FAX 019-629-6739

今年も！若どう市を開催します！

盛岡地方農業青年連絡協議会（通称：盛岡地方連）では一昨年度から開催し、消費者の皆様より好評である農産物直売会「若どう市」を今年度も開催することとなりました！

クラブ員が丹誠込めて栽培したお米・野菜・果物・花など、新鮮な農産物を販売します！皆様ぜひお越しくださいませ！

開催期日

8月31日(土)
9月16日(月・祝)
10月5日(土)

販売時間

8:30~17:00

(無くなり次第終了)

場所

サンフレッシュ都南

(野外テントにて)

(盛岡市下飯岡 21-180)

盛岡地方農業青年連絡協議会とは？

—盛岡市、玉山区、紫波町、滝沢村、八幡平市、岩手町の7市町村の8農業青年クラブ(通称4Hクラブ)で構成される組織です。クラブ員は主に20~30代の若い農業後継者で、営農のかたわら、クラブ活動を通じて農業技術の研鑽、仲間作りや農業への理解を深めるための地域活動等の様々な取り組みを行っています。

※Facebook もやっています！「盛岡地方連」で検索！



「技術実証って、つまりはどんなことをするの？」

先月号で管内で取り組まれている技術実証などを一部紹介しましたが、実際に何を「目的」に、どんな「こと」をしているか、どんな「効果」が望まれるか、等について数多くある技術実証の中から更にピックアップしてお伝えします！

今回は「ピーマン（パプリカ）での天敵利用によるハダニ・アザミウマ類防除効果の検討」について紹介します！



背景

ピーマン・パプリカ栽培における、**ハダニ、アザミウマ類**

⇒草勢低下や品質低下をもたらす**重要害虫**！

- ・初発での発見が難しく被害が拡大するというケースが多い。。
- ・多発後の防除では、防除回数や薬剤散布労力も増加
⇒ 生産者への負担も大きい



目的

県南地域で普及している**天敵製剤**の被害軽減効果を実証するとともに、**慣行栽培との比較**により、その実用性を検討する！

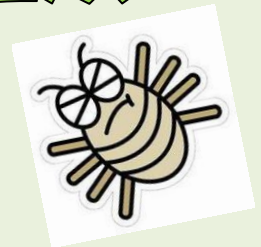
使用する天敵はこの2種類！

①ミヤコカブリダニ（製剤名：スパイカル EX）

対象害虫 ハダニ類

1日当たりの捕食量 卵・幼虫 15頭、若虫 9頭、成虫 1~2頭、

寿命 約 2週間（卵から成虫までに 5日間）

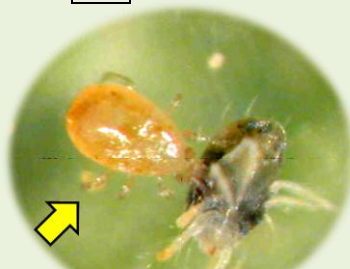


②スワルスキーカブリダニ（製剤名：スワルスキー）

対象害虫 アザミウマ類、コナジラミ類、チャノホコリダニ

1日当たりの捕食量 アザミウマ幼虫 5~6頭、コナジラミ幼虫 15頭、コナジラミ卵 10~15卵

寿命 約 30日間（卵から成虫までに 1週間）



ハダニ捕食中のミヤコカブリダニ
(矢印)

<特徴>

- ・花粉を餌に増殖できる待ち伏せ型の天敵である。
＝**花が咲けば、害虫が発生する前から放飼できる。**

<注意点>

- ・アザミウマ成虫は捕食できない⇒飛び込み対策が必要
※害虫をゼロにする技術ではなく、あくまでも「被害を軽減させる技術」。
- ・使用できる農薬に制限がある。
※天敵の個体数を減らしてしまう薬剤は原則として使用できません。

本技術の導入により、
被害の軽減 ⇒ **農薬散布回数を減らす** ⇒ **労力軽減**
が期待されます！
人・作物・環境に優しい農業を目指していきましょう！

